

わたしらしくあなたらしく生きる

～男女共同参画～

働いてきた先輩女性として × わたしらしく 01

働き続けてきた中で

武雄市男女共同参画推進市民会議会長
庭木朝子さん

6月23日～29日は、男女共同参画週間です。性別にとらわれることなく、誰もが自分らしく生きるために、共に考え共に行動する事が大切です。

「自分らしく生きるとは？」

今回、それぞれの立場から3名の方にインタビューしています。この機会に「自分らしく」について一緒に考えてみませんか？

自分らしく生きるという自分の原点は、子どもの頃の母の教え『女性も男性と同じように働く時代が来るから、考えながら勉強しなさい。』という言葉にあります。教員として働き続けられたのも、この母の教えと同居する両親と夫の子育てや家事への協力があつたからです。



しかしながら、女性という立場で働き続けていく中で、仕事の内容や研修の機会等悔しい思いをすることが数多くありました。できない事に対しては、跳ね返す努力をしてその場その場を一生懸命に生きてきましたが、定年前に退職しなければならぬ時代でもあり悔しい思いもしました。でもその時の悔しい思いが、世の中を知るきっかけともなり、今の男女共同参画の活動につながっているようにも思えます。

また、佐賀県男女共同参画推進員となった事がきっかけで、仲間とともにDV問題にも係わり、自分自身が知らなかった暴力で苦しむ人たちが身近にいることを知り、DVを防止する啓発活動の大切さを認識しました。我慢せずに「助けて」と言える環境づくりと、子どもへのDV連鎖を阻止できるような街づくりのため、活動を継続していく事が大切と考えています。

働く女性として × わたしらしく 03

自分らしく、前向きに

佐賀銀行 山崎洋子さん



私が勤務する佐賀銀行は、女性の活躍推進に力を入れている企業で、子育て中でも働きやすい職場で仕事にもやりがいを感じています。残業時や子どもの病気の時は、上司や同僚から『早く帰っていいよ』などの声掛けがあるので、帰りやすく気が楽です。

また、夫の理解と協力があるので、仕事と家庭の両立ができています。早く帰宅する方が家事をするなどお互いが協力し合っています。男だからできる事、女だからできる事はあつて、すべて同じである必要はないと感じています。仕事でも家庭でも、お互いが良さを認め合い、各々の特性を活かして、補い合えればいいなと思います。自分らしく、女性の良さを活かし、何事も楽しく、前向きに、よくよみせずに頑張っていきたいです。

働く男性として × わたしらしく 02

お互いを理解するために

(株) ケーブルワン 中尾光一さん



男だから女だからとあまり意識しすぎない自然体で、それぞれがそれぞれの特性・個性を活かして、お互いが尊重し合えればいいですね。

女性が働くためには環境と職場づくりが重要だと思います。女性が自然に「やりやすい。やってみたいです。」と言えるような環境づくり、男女を意識することなくお互いの意見を出し合える職場づくりが必要ではないでしょうか。

そのためにも、お互いを理解することが大切です。『ありがたい』の言葉一つとっても男性は思っている「あまり口に出さない」、女性は「口に出して欲しい」と感じ方や考え方も違うこともあります。些細な事も話してみないとわからないことも多いですから、家庭でも職場でも地域でも今以上にコミュニケーションをとれば、さらにうまくいくと思います。